

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 5 部門第 1 区分
 【発行日】平成30年3月8日 (2018.3.8)

【公表番号】特表2016-507032(P2016-507032A)
 【公表日】平成28年3月7日 (2016.3.7)
 【年通号数】公開・登録公報2016-014
 【出願番号】特願2015-557132(P2015-557132)
 【国際特許分類】

F 0 2 B 41/10 (2006.01)

F 0 2 B 39/08 (2006.01)

F 0 2 B 39/12 (2006.01)

【 F I 】

F 0 2 B 41/10

F 0 2 B 39/08

F 0 2 B 39/12

【誤訳訂正書】

【提出日】平成30年1月23日 (2018.1.23)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

内燃機関との使用のためのターボチャージャであって、前記ターボチャージャは、
 差動デバイスであって、前記差動デバイスは、

無段変速トランスミッションと駆動係合しているキャリア部分であって、前記無段変
 速トランスミッションは、前記内燃機関と駆動係合している、キャリア部分と、

第 1 の複数の磁石を有する第 1 のサイドギヤと、

第 2 の複数の磁石を有する第 2 のサイドギヤと

を有する、差動デバイスと、

前記差動デバイスの前記第 1 のサイドギヤと駆動係合しているコンプレッサ部分であっ
 て、複数の磁石を有するコンプレッサ部分と、

前記差動デバイスの前記第 2 のサイドギヤと駆動係合しているタービン部分であって、
 複数の磁石を有するタービン部分と

を備え、

前記コンプレッサ部分は、前記第 1 のサイドギヤと磁気駆動係合し、前記タービン部分
 は、前記第 2 のサイドギヤと磁気駆動係合している、ターボチャージャ。

【請求項 2】

前記コンプレッサ部分と前記第 1 のサイドギヤとは、第 1 の磁気駆動比率調節デバイス
 を形成し、前記タービン部分と前記第 2 のサイドギヤとは、第 2 の磁気駆動比率調節デバ
 イスを形成する、請求項 1 に記載の内燃機関との使用のためのターボチャージャ。

【請求項 3】

内燃機関との使用のためのターボチャージャであって、前記ターボチャージャは、
 差動デバイスであって、前記差動デバイスは、

無段変速トランスミッションと駆動係合しているキャリア部分であって、前記無段変
 速トランスミッションは、前記内燃機関と駆動係合している、キャリア部分と、

第 1 の複数の磁石を有する第 1 のサイドギヤと、

第 2 の複数の磁石を有する第 2 のサイドギヤと
を有する、差動デバイスと、

前記差動デバイスの前記第 1 のサイドギヤと駆動係合しているコンプレッサ部分と、
前記差動デバイスの前記第 2 のサイドギヤと駆動係合しているタービン部分と、
複数の磁石を含む複数のスパイダギヤと

を備え、前記複数のスパイダギヤは、前記第 1 のサイドギヤおよび前記第 2 のサイドギヤと磁気駆動係合している、ターボチャージャ。

【請求項 4】

少なくとも 1 つの中間鉄部材をさらに備え、前記中間鉄部材は、前記複数のスパイダギヤと前記第 1 のサイドギヤおよび前記第 2 のサイドギヤのうち的一方との間に配置されている、請求項 3 に記載の内燃機関との使用のためのターボチャージャ。

【請求項 5】

比率調節デバイスをさらに備え、前記比率調節デバイスは、前記差動デバイスおよび前記無段変速トランスミッションと駆動係合している、請求項 1 または 3 に記載の内燃機関との使用のためのターボチャージャ。

【請求項 6】

複数のスパイダギヤをさらに備え、前記複数のスパイダギヤは、前記差動デバイスの前記第 1 のサイドギヤおよび前記第 2 のサイドギヤと駆動係合している、請求項 1 に記載の内燃機関との使用のためのターボチャージャ。

【請求項 7】

差動筐体をさらに備え、前記差動デバイスの前記第 1 のサイドギヤおよび前記第 2 のサイドギヤは、前記差動筐体内に配置され、前記差動筐体は、前記無段変速トランスミッションと駆動係合している、請求項 1 または 3 に記載の内燃機関との使用のためのターボチャージャ。

【請求項 8】

出力シャフトをさらに備え、前記出力シャフトは、前記差動デバイスおよび前記無段変速トランスミッションと駆動係合している、請求項 1 または 3 に記載の内燃機関との使用のためのターボチャージャ。

【請求項 9】

前記出力シャフトは、前記コンプレッサ部分および前記タービン部分の一方を通過する、請求項 8 に記載の内燃機関との使用のためのターボチャージャ。

【請求項 10】

内燃機関との使用のためのターボチャージャであって、前記ターボチャージャは、
キャリア部分を有する差動デバイスと、

前記差動デバイスの第 1 の部分と駆動係合しているコンプレッサ部分と、
前記差動デバイスの第 2 の部分と駆動係合しているタービン部分と、

比率調節デバイスと
を備え、

前記差動デバイスの前記キャリア部分は、無段変速トランスミッションと駆動係合し、
前記無段変速トランスミッションは、前記内燃機関と駆動係合し、前記比率調節デバイスは、前記コンプレッサ部分および前記差動デバイスの前記第 1 の部分、および前記タービン部分および前記差動デバイスの前記第 2 の部分のうち少なくとも 1 つと駆動係合している、ターボチャージャ。

【請求項 11】

内燃機関との使用のためのターボチャージャであって、前記ターボチャージャは、
キャリア部分を有する差動デバイスと、

前記差動デバイスの第 1 の部分と駆動係合しているコンプレッサ部分と、

前記差動デバイスの第 2 の部分と駆動係合しているタービン部分と、

前記差動デバイスの前記キャリア部分および第 1 の比率調節デバイスと駆動係合している出力シャフトと、

第 2 の比率調節デバイスと

を備え、

前記第 1 の比率調節デバイスは、無段変速トランスミッションとさらに係合し、前記無段変速トランスミッションは、前記内燃機関と駆動係合しており、前記第 2 の比率調節デバイスは、前記コンプレッサ部分および前記差動デバイスの前記第 1 の部分、および前記タービン部分および前記差動デバイスの前記第 2 の部分のうちの少なくとも 1 つと駆動係合している、ターボチャージャ。

【請求項 1 2】

前記差動デバイスの前記第 1 の部分は、複数の磁石を備え、前記差動デバイスの前記第 2 の部分は、複数の磁石を備えている、請求項 1 1 に記載の内燃機関との使用のためのターボチャージャ。

【請求項 1 3】

複数のボールをさらに備え、前記差動デバイスの前記第 1 の部分は、第 1 の駆動リングであり、前記差動デバイスの前記第 2 の部分は、第 2 の駆動リングであり、前記複数のボールは、前記差動デバイスの前記第 1 の駆動リングおよび前記第 2 の駆動リングと駆動係合している、請求項 1 1 に記載の内燃機関との使用のためのターボチャージャ。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 1 5

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 1 5】

本発明の種々の側面は、付随の図面に照らして熟読されることによって、好ましい実施形態の以下の発明を実施するための形態から当業者に明白となるであろう。

本発明は、例えば、以下を提供する。

(項目 1)

内燃機関との使用のためのターボチャージャであって、前記ターボチャージャは、
キャリア部分を有する差動デバイスと、
前記差動デバイスの第 1 の部分と駆動係合しているコンプレッサ部分と、
前記差動デバイスの第 2 の部分と駆動係合しているタービン部分と
を備え、
前記差動デバイスの前記キャリア部分は、無段変速トランスミッションと駆動係合し、
前記無段変速トランスミッションは、前記内燃機関と駆動係合している、ターボチャージャ。

(項目 2)

前記差動デバイスの第 1 の部分は、第 1 のサイドギヤであり、前記差動デバイスの第 2 の部分は、第 2 のサイドギヤである、項目 1 に記載の内燃機関との使用のためのターボチャージャ。

(項目 3)

前記第 1 のサイドギヤは、複数の磁石を備え、前記第 2 の駆動ギヤは、複数の磁石を備えている、項目 2 に記載の内燃機関との使用のためのターボチャージャ。

(項目 4)

前記コンプレッサ部分は、複数の磁石を備え、タービン部分は、複数の磁石を備え、前記コンプレッサ部分は、前記第 1 のサイドギヤと磁気駆動係合し、前記タービン部分は、前記第 2 のサイドギヤと磁気駆動係合している、項目 3 に記載の内燃機関との使用のためのターボチャージャ。

(項目 5)

前記コンプレッサ部分と前記第 1 のサイドギヤとは、デバイスを調節する第 1 の磁気駆動比率を形成し、前記タービン部分と前記第 2 のサイドギヤとは、デバイスを調節する第 2 の磁気駆動比率を形成する、項目 4 に記載の内燃機関との使用のためのターボチャージャ。

ヤ。

(項目 6)

複数の磁石を含む複数のスパイダギヤをさらに備え、前記複数のスパイダギヤは、前記第 1 のサイドギヤおよび前記第 2 のサイドギヤと磁気駆動係合している、項目 3 に記載の内燃機関との使用のためのターボチャージャ。

(項目 7)

少なくとも 1 つの中間鉄部材をさらに備え、前記中間鉄部材は、前記複数のスパイダギヤと前記第 1 のサイドギヤおよび前記第 2 のサイドギヤのうち的一方との間に配置されている、項目 6 に記載の内燃機関との使用のためのターボチャージャ。

(項目 8)

前記差動デバイスの前記第 1 の部分は、第 1 の駆動リングであり、前記差動デバイスの前記第 2 の部分は、第 2 の駆動リングである、項目 1 に記載の内燃機関との使用のためのターボチャージャ。

(項目 9)

複数のボールをさらに備え、前記複数のボールは、前記差動デバイスの前記第 1 の駆動リングおよび前記第 2 の駆動リングと駆動係合している、項目 8 に記載の内燃機関との使用のためのターボチャージャ。

(項目 10)

比率調節デバイスをさらに備え、前記比率調節デバイスは、前記差動デバイスおよび前記無段変速トランスミッションと駆動係合している、項目 1 に記載の内燃機関との使用のためのターボチャージャ。

(項目 11)

複数のスパイダギヤをさらに備え、前記複数のスパイダギヤは、前記差動デバイスの前記第 1 の部分および第 2 の部分と駆動係合している、項目 1 に記載の内燃機関との使用のためのターボチャージャ。

(項目 12)

差動筐体をさらに備え、前記差動デバイスの前記第 1 の部分および第 2 の部分は、前記差動筐体内に配置され、前記差動筐体は、前記無段変速トランスミッションと駆動係合している、項目 1 に記載の内燃機関との使用のためのターボチャージャ。

(項目 13)

出力シャフトをさらに備え、前記出力シャフトは、前記差動デバイスおよび前記無段変速トランスミッションと駆動係合している、項目 1 に記載の内燃機関との使用のためのターボチャージャ。

(項目 14)

前記出力シャフトは、前記コンプレッサ部分および前記タービン部分の一方を通過する、項目 13 に記載の内燃機関との使用のためのターボチャージャ。

(項目 15)

比率調節デバイスをさらに備え、前記比率調節デバイスは、前記コンプレッサ部分および前記差動デバイスの前記第 1 の部分、および前記タービン部分および前記差動デバイスの前記第 2 の部分のうち少なくとも 1 つと駆動係合している、項目 1 に記載の内燃機関との使用のためのターボチャージャ。

(項目 16)

内燃機関との使用のためのターボチャージャであって、前記ターボチャージャは、キャリア部分を有する差動デバイスと、

前記差動デバイスの第 1 の部分と駆動係合しているコンプレッサ部分と、

前記差動デバイスの第 2 の部分と駆動係合しているタービン部分と、

前記差動デバイスのキャリア部分および比率調節デバイスと駆動係合している出力シャフトと

を備え、

前記比率調節デバイスは、無段変速トランスミッションとさらに係合し、前記無段変速

トランスミッションは、前記内燃機関と駆動係合している、ターボチャージャ。

(項目 17)

第2の比率調節デバイスをさらに備え、前記第2の比率調節デバイスは、前記コンプレッサ部分および前記差動デバイスの前記第1の部分、および前記タービン部分および前記差動デバイスの前記第2の部分のうちの少なくとも1つと駆動係合している、項目16に記載の内燃機関との使用のためのターボチャージャ。

(項目 18)

前記差動デバイスの前記第1の部分は、複数の磁石を備え、前記差動デバイスの前記第2の部分は、複数の磁石を備えている、項目16に記載の内燃機関との使用のためのターボチャージャ。

(項目 19)

複数のボールをさらに備え、前記差動デバイスの前記第1の部分は、第1の駆動リングであり、前記差動デバイスの前記第2の部分は、第2の駆動リングであり、前記複数のボールは、前記差動デバイスの前記第1の駆動リングおよび前記第2の駆動リングと駆動係合している、項目16に記載の内燃機関との使用のためのターボチャージャ。

(項目 20)

内燃機関との使用のためのターボチャージャであって、前記ターボチャージャは、キャリア部分を有する差動デバイスと、

前記差動デバイスの第1の部分と駆動係合しているコンプレッサ部分と、

前記差動デバイスの第2の部分と駆動係合しているタービン部分と、

前記コンプレッサ部分および前記差動デバイスの第1の部分、および前記タービン部分および前記差動デバイスの第2の部分のうちの少なくとも1つと駆動係合している第1の比率調節デバイスと、

前記差動デバイスの前記キャリア部分および第2の比率調節デバイスと駆動係合している出力シャフトと

を備え、

前記第2の比率調節デバイスは、無段変速トランスミッションとさらに係合し、前記無段変速トランスミッションは、前記内燃機関と駆動係合している、ターボチャージャ。

【誤訳訂正3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0034

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0034】

第1の中間フェライト部材455は、第1のサイドギヤ452と複数のスパイダギヤ458との間に配置される部材である。第1の中間フェライト部材455は、鉄材料から形成され、第1のサイドギヤ452と複数のスパイダギヤ458との間の磁場の伝達を促進する。

【誤訳訂正4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0035

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0035】

第2の中間フェライト部材456は、第2のサイドギヤ454と複数のスパイダギヤ458との間に配置される部材である。第2の中間フェライト部材456は、鉄材料から形成され、第2のサイドギヤ454と複数のスパイダギヤ458との間の磁場の伝達を促進

する。

【誤訳訂正５】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】００５６

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【００５６】

差動デバイス７８０は、第１のサイドギヤ７８７と、第２のサイドギヤ７８８と、差動キャリア７８９と、複数のスパイダギヤ７９０と、一対の中間鉄部材７９１と、差動筐体７９２とを備えている。第１のサイドギヤ７８７、第２のサイドギヤ７８８、差動キャリア７８９、および複数のスパイダギヤ７９０は、タービン部分７８２とコンプレッサ部分７８４との間に回転可能に配置される差動筐体７９２内に配置される。中間鉄部材７９１の各々は、筐体７１６に対して固定され、各々は、第１のサイドギヤ７８７とコンプレッサ部分７８４との間、および第２のサイドギヤ７８８とタービン部分７８２との間にそれぞれ配置される。第１のサイドギヤ７８７および第２のサイドギヤ７８８は、それぞれ、コンプレッサ部分７８４およびタービン部分７８２に隣接して配置され、それらと磁気駆動係合する、ベベルギヤである。第１のサイドギヤ７８７は、第３の磁気アレイ７９３を含み、コンプレッサ部分７８４との駆動係合を促進する。図７に示されるように、第３の磁気アレイ７９３は、円筒形形状であり、コンプレッサ部分７８４の第２の磁気アレイ７８６の周りに配置される。第２のサイドギヤ７８８は、タービン部分７８２との駆動係合を促進する第４の磁気アレイ７９４を含む。図７に示されるように、第４の磁気アレイ７９４は、円筒形形状であり、タービン部分７８２の第１の磁気アレイ７８５の周りに配置される。

【誤訳訂正６】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】００５７

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【００５７】

第３の磁気アレイ７９３と、中間鉄部材７９１のうちの１つと、第２の磁気アレイ７８６とは、コンプレッサ部分７８４と第１のサイドギヤ７８７との間の駆動比率を調節するために使用される、磁気駆動比率調節デバイスを形成する。磁気駆動比率調節デバイスは、コンプレッサ部分７８４と第１のサイドギヤ７８７との間の減速を生じさせるために使用される。他の磁気配列が、コンプレッサ部分７８４と第１のサイドギヤ７８７との間の減速を生じさせるために使用され得ることを理解されたい。

【誤訳訂正７】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】００５８

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【００５８】

第４の磁気アレイ７９４と、中間鉄部材７９１のうちの１つと、第１の磁気アレイ７８５とは、タービン部分７８２と第２のサイドギヤ７８８との間の駆動比率を調節するために使用される、磁気駆動比率調節デバイスを形成する。磁気駆動比率調節デバイスは、タービン部分７８２と第２のサイドギヤ７８８との間の減速を生じさせるために使用される。他の磁気配列が、タービン部分７８２と第２のサイドギヤ７８８との間の減速を生じさせるために使用され得ることを理解されたい。さらに、磁気駆動比率調節デバイスの原理は、本明細書に前述の本発明の実施形態のいずれに適用され得ることを理解されたい。